



第45号

発行所
〒799-1101 愛媛県西条市
小松町新屋敷乙42-1
小松高等学校
養正会
印刷 株式会社サラト



ご挨拶

養正会会長 工藤 憲治



会員の皆様には、益々ご健勝の事とお慶び申し上げます。また、日頃より養正会活動にご理解とご支援を賜り誠に有難う御座います。

さて、小松高校が創立一一五年を迎えた本年に三年振り皆様のご協力を頂き養正会総会を行う事が出来ました。感謝申し上げます。そして事業の一環としての養正会名簿の作成も完成し皆様の手元に届いた事と思います。また会報は昨年に引き続き全会員に配布をさせて頂き小松高校と養正会の情報発信をいたしました。加

えてホームページを開いたしました。広報誌にはないリアルタイムな情報を発信していきますのでご覧ください。小松高校では、創立一一五周年記念の今久保宏美(同窓生)さんと吹奏楽部のジョイントコンサートが行われ美しい歌声と素晴らしい演奏で小松高祭が盛り上がりました。

この記念すべき年に、大きな問題が持ち上がりました。それは愛媛県より七月に県立高校の再編計画があり五五校を四四校に再編する事。その中で西条市では二六年度には小松・丹原・東予の三校を二校に統合し小松高校に普通科を統合し周桑高校(仮称)にし、東予高校に農業・工業・商業・家庭科を統合し西条産業科学高校(仮

地域とともに未来を信じて

校長 松浦 ヨリ子



養正会の皆様にはますます御清祥のこととお喜び申し上げます。皆様には本校

の教育活動に対して特段の御理解・御支援をいただいておりますことに心から感謝申し上げます。本来であれば、各支部総会の場をお借りして、活動状況を報告するところですが、やむなく中止となっておりますことを残念に思っております。

今年度は普通科・ライフデザイン科合わせて一二二名が入学し、全校生徒三六二名でスタートしました。コロナ禍で活動が制限される場面もありましたが、生徒たちは

「Get Over」今を生きる自分たちで」をスローガンに掲げ、学校生活に精一杯取り組んでおります。学業、部活動以外でも、氷見古民家での活動、西条市商店街の活性化を目指した探究活動、図書委員会による温芳図書館でのコラボ企画、生徒会による篤山邸の清掃ボランティア、竹林整備など地域と協働した活動に主体性を発揮し、成果をあげつつあります。活動状況は学校ホームページでお知らせしておりますので、御覧いただければ幸いです。

さて、御案内のとおり、七月に県立高校を再編する「愛媛県立学校振興計画(案)」が公表されました。二回の地域説明会、パブリックコメントの実施を経て、計画が決定され、

称)にする案が発表されました。養正会では「小松高校の存続を考える会」を立ち上げ会員・PTA・地域の方々に協力を頂き存続を訴える署名活動を行い多くの皆様方にご協力頂き県教委に提出させて頂きました。県では、多くの意見を聞きパブリックコメントを含む)決定されました。

養正会報が皆様の所に届く頃には決まっている事と思いますが、二七年度は小松高校の創立二二〇周年です。この統合の危機を乗り越えて小松高校の歴史を繋いでいき今まで支えて頂いた皆の思いを込めた創立二二〇周年記念事業が小松高校と同窓生・地域の方々とともに出来る事を信じています。皆様のお力をお貸しく下さい。

令和五年度から実施されることとなっております。計画案は少子化が進む中、「生徒にとってよりよい教育環境の実現」を第一義に策定されたものですが、本校も対象となっており、養正会の皆様には多大なる御心配をおかけしております。お話を聞かせていただく中で、改めて、皆様の母校に対する熱い思いと、学校は地域に支えられ地域とともにあることを実感しております。現在、本校の喫緊の課題は普通科の魅力化と入学生の確保等でありますが、築かれた一一五年の歴史と伝統を繋いでいくべく、この先の学校の姿も見据えて一層の魅力化を図り、地域の未来に貢献できる人材の育成に教職員一丸となって取り組んでまいります。変わらぬお力添えをいただきますようどうぞよろしくお願ひします。



小松高校
ホームページ

偶然の出会いから・・・



養正会会員の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

令和4年度も、やはり新型コロナウイルスの影響により思うような活動ができませんでした。しかしながら会長を中心に少しずつではありますが、コロナとの共生を模索しながら活動の幅を広げていっております。早速、令和4年5月21日石鎚神社会館におきまして、規模は大幅に縮小してはありますが、本部役員、支部役員出席のもと、久しぶりに養正



養正会副会長 渡部 英志

会総会を開催することができました。さて、私事で大変恐縮ですが、正直

なところ高校卒業以来、約30年以上母校との縁がほとんどありませんでしたが、とある「会」に入会したことをきっかけに小松高校養正会との繋がりを深めることになりました。その「会」は20数名ほどで構成されておりますが、たまたま小松高校のOBの方々（養正会元会長・養正会会長・副会長・常任理事を含む）が当時70%以上在籍しており、そのほとんどの方々が私の先輩という事で当然の如く、「養正会」のお世話をしなさいと即座にご下命を賜りました。丁度小松高校創立100周年頃からの拘りになります。それからは、関東支部総会・関西支部総会・松山支部総会・



※運動会と思われる1枚のスナップ(「会」)を嗜む会に入会させていただいたことで、多く

等々、様々な会合に出席させていただき、多くの先輩・後輩の皆様と交流することができ、人脈の幅が広がったことが今となっては、私の大きな財産となっております。さらには、野球部の2014年夏の甲子園大会出場によって、全国の卒業生に一体感が生まれ、同窓会活動により一層力が入るようになりました。前述でも申し上げましたように卒業以来縁がなかった母校に、とある「会」(旨い：を嗜む会)に入会させていただいたことで、多く

の方々との出会いや、感動をいただくことで、改めて母校への「想い」を馳せ、微力ではありますが在校生・同窓会の一助となれますよう尽力したいと思っておりますので、今後ともよろしくお

松山支部

俳都「松山」で 頑張っているOB

松山支部長 中原由美子

7月に予定しておりました、令和4年度の松山支部総会・懇親会は、コロナ感染拡大の収束には至らず、残念ではありましたが中止とさせていただきます。ただききました。なお、令和5年度の総会・懇親会は7月上旬を予定しております。次回



関西支部

心通う養正会



関西支部長 藤木 はるみ

願います。むすびになります。養正会会員の皆様には今後とも物心両面よりご支援を賜りますよう重ねてお願い申し上げます。

こそは開催できる事を願い日程が決まりしだい皆様にはお知らせいたします。

私(中原)もかつては、俳句に関わる事や、興味すら全くなかったのですが、二度ほど仕事の関係で夏井いつきさんの句会ライブに同行したのをきっかけに、今では俳句教室にも通い、自由に句作を楽しんでいます。

高校の部活動も「eスポーツ部、パフォーマンス書道部」など、多種多様な時代となり、小松高校生もいつの日か『俳句甲子園』に出場する日が来るかもしれませんね。

さて、今回松山支部では、『頑張っているOB』のご紹介を8、9ページで行っています。総会・懇親会にも参加されている昭和62年卒業の『白木秀幸』さんです。

このたび、関西支部、支部長の任に就きました昭和四十二年卒業の藤木はるみでございます。微力ではございますが、母校の発展のため力を注ぎ、また、関西支部大発展のため、尽力して参る所存でございます。どうぞ宜しくお願い申し上げます。また、平素は、関西支部の活動に御支援と御協力をいただき深く感謝申し上げます。

株式会社 むらかみ 愛媛県西条市三津屋南15番5 電話 0898-64-4001

アールスタジオ PHOTOGRAPH 西条市三津屋南4-42番地 電話 0898-64-2318

石鎚神社 愛媛県西条市西田甲797



みんなでカラオケ



桂文福師匠



最後に万歳



さて、今、世界的にコロナ禍の中で、なかなか一歩前に踏み出せない状況ではありますが、本年は関西支部として、皆様と連携を密にしながら、本当にお会いできて良かった、未来が開けたという総会を目指し、検討し、熟慮しております。

さて、昨年十一月八日、日本では、四百四十二年ぶりの極めてまれな天体ショーが起りました。それは、満月が地球の影に隠れる「皆既月食」と「天王星食」が同時に起こり、しばし、月に心が釘付けとなりました。

東の空に赤銅色に輝く月をしばらく眺め大宇宙のロマンに浸りました。また、皆様も心が癒やされたことでしょう。人類は、もっと大きな心、広い心が大切なのではないかと痛感しました。さて、今、世界の情勢は、大変な状況にあります。気候変動、地球温暖化、南極の30m地下の水が溶けつつあること。ロシアのウクライナ侵略。コロナ感染症、物価高騰と非常に厳しい状況にあります。こういう時だからこそ、同窓の友と、懐かしいふるさと愛媛、また養正が丘、学生時代のことを語り心を通わせ親睦を図り皆様で少しでも前にむかって進んで参りたいと思えます。本年の関西支部総会も、明るく、笑いと歓びに溢れた総会にして参ります。

本年も一人でも多くの同窓生の皆様と、この大阪の地でお会いできることを、楽しみにしております。今後も益々関西支部へのお力添えをいただけますよう、宜しくお願い申し上げます。

コロナ禍の状況で、開催できるかどうか解りませんが、八月第一(土)に開催の予定です。どうぞ皆様の御参加をお待ち致しております。

関東支部

母校、百年樹人



関東支部長 矢野光治

養正会関東支部総会は三年間続けて開催中止、関東の役員会も必要に応じて電話・メール・書面で連絡を取り合っているが、対面式の会合は未だに実現していません。総会のための会場は、今夏も事前確保はしたものの結果はキャンセルです。全ては長期に渡るコロナ禍が主たる原因です。

一年を思う者は花を植える、十年を思う者は木を植える、百年を思う者は人を育てる。

母校は小松町立実用女学校(明治四十年九月開校)と私立宇安中学校(昭和十六年二月創立を前身として、今年創立百十五周年を迎えた。現在、卒業生の総数も二万名になろうとしている。この百十数年の間には母校が多くの有用な人材を育成輩出し、地域の教育活動の拠点としての役割を大いに果たしている)と卒業生一人として自負している。

今夏、県教育委員会は県立学校振興計画案を公表した。県立高校五十五校から四十四校に再編するという内容である。母校もその渦中にあり、丹原高校と統廃合して校名の変更を迫られている。その詳細は本号の特集ペー지를参照されたい。その後、対象となる高校の住民等による存続に関する

要望活動に対して、去る十月十二日、田所教育長は「我々の案を上回るようなものがないと変更には繋がらない。・・・地域が廃れるので現状維持や再検討をしてほしい」といったことは書かれていたが、具体的にどんな形でやればいいのかの提言はない」などの大変厳しいコメントを出している。

中国の文豪魯迅(本名は周樹人、一八八一―一九三六、東北大学前身の仙台医学専門学校に留学)が書いた短編小説『故郷』(中学校国語の教科書に出てくるので読まれた方も多いと思う)の中に、次のような人口に膾炙(かいしゃ)力イシヤンした一節がある。

僕は考えた――希望とはもともとあるともないとも言えない。それは道のようなものである。もともと地上に道はない。歩く人が多ければそれが道になるのだ。

今後、母校の体制にどのような変化があるのかもここで学ぶ若者は続くわけである。その人々にはこの「養正が丘」の伝統を継承しつつ「新たな道」を切り拓き歩んでもらいたいと願うばかりである。

二〇二三年度関東支部の総会は八月二十六日(土)開催予定、使用会場は以前と同じ帝国ホテルで既に予約済みです。コロナ罹患者がまた増加し始め、「第八波」到来の予兆を感じさせる昨今である。来夏の会合のことゆえ予測は難しいが、開催可能の際には、是非、関東の総会へご参集いただきますようお願いいたします。久しぶりとなる対面で親睦を大いに深めましょう。

(二〇二三年十一月記)

OA情報機器・オフィス家具・文具・事務用品

植木事務器 新居浜店

〒792-0023 新居浜市繁本町9番51号
TEL (0897) 32-4729番
33-3929番
FAX (0897) 33-3929番

エディオン小松店 **EDION**

株式会社 **岡本**

〒799-1101 西条市小松町新屋敷甲2057-1
TEL:0898-72-6215 FAX:0898-72-6216

森本電機

愛媛県西条市東町295番地

高校再編について

県は令和四年七月に、県立高校等を現在の五十五校から四十四校に再編する「愛媛県立学校振興計画(案)」を公表した。期間は、令和五年度から令和十四年度までの十年間とし、前期計画(令和五～九年度)の具体的計画内容と後期計画(令和十～十四年度)の方向性を今年度中に決定した後、令和五年度から再編・統合に着手すると発表した。計画案では、小松、東予、丹原の三校を「周桑高校(仮称)」と「西条産業科学高校(仮称)」の二校に再編することをはじめ、今治西伯方分校と今治北大三島分校を、しまなみ海洋高校(仮称)に統合、北条高校は昼間二部定時制課程と通信制課程を併置した「愛媛風早高校(仮称)」に改編するなど複数計画している。再編整備基準として、適正規模は一学年三～八学級を基本とすること、三学級以上の学校は入学生が八十人以下の状況が三年続き、その後も増える見込みがない場合は募集停止を行うことなども示された。

この計画を受けて、西条地区では西条中央公民館で令和四年八月九日に第一回地域説明会が開催され、県教委は資料を配布し子供の減少が早い速度で進み、あらゆるところに学校を置くことがかなり苦しい状況と説明をしましたが、地域住民からは反対意見が相次ぎました。第二回地域説明

談センターで令和四年十月八日に開催されましたが、前回同様に地域住民からは反対意見が相次ぎました。県教委からは前回の質問に対する返答が少しですが、資料として配布されました。後は県のホームページにパブリック・コメント(意見公募)が行われて、令和五年一月に県として振興計画の決定を行い、統合等の対象となつてい学校には準備委員会を設け、校名・学校運営に関することを検討して順次編成が行われることとなります。(資料は愛媛県教育委員会高校教育課ホームページより)

西条地区の御意見と県教育委員会の考え方

① 「小松高校の校地を使用するのなら、小松高校という名前のまま、新しいコースを設置したほうが伝統を引き継げるのではないか。」

これまでにない新しいタイプの学校としてスタートするためです。

- 愛媛県初の理数情報科や教員養成・社会共創コースを新設する周桑高校(仮称)は、職業学科を統合し学科横断的学習を目指す西条産業科学高校(仮称)と併せて、**周辺の地区に先んじた新しい教育スタイルを実践する学校**となります。**新たなスタートを切るにあたり、中身のリニューアルにふさわしい新校名に変更することも検討してはどうか**と考えています。

校名については、準備委員会(R5設置)において(現校名を含め)検討することとしています。

- 校名については、令和5年度以降に設置される準備委員会(市町行政関係者・学校関係者・地域住民等で構成)において、検討していくこととなります。
- 西条地域の中学生も含め多くの方からの意見を伺いながら、**今後入学してくる生徒に、長く愛されるような校名にしたい**と考えています。

魅力ある学校づくりと連動した「愛媛県県立学校振興計画策定の指針」の概要

1 県立学校振興計画策定の背景

環境の変化：生徒数減少、情報化、グローバル化

県立学校等の役割：人材の育成拠点、地域活性化の核

計画策定が必要：よりよい教育環境の実現

2 計画の期間
令和5年度～令和14年度(10年間)

計画策定後は、統合等のまもりごとに準備委員会を立ち上げ、具体的な準備を推進(P5)

3 県立高校等を取り巻く課題

(1) 生徒数の減少と学校の小規模化

○県立高校等の在籍生徒数
平成2年度：約5万3千人 → 令和3年度：約2万4千人
約3万人減

○県立高校等の学校数
平成2年度：57校 → 令和3年度：55校
2校減

○1校1学年当たりの平均学級数
平成2年度：7.4学級 → 令和3年度：4.3学級
約4割減少

・多様な科目の開設や、部活動の実施が困難
・地域外の規模の大きな学校への進学が増加

各地域に一定規模以上の学校設置が必要

(2) 社会の変化と生徒の多様化

- 産業構造・就業構造の変化
- 地域と連携した人材育成
- 高校等進学率が高い状況下での生徒の多様化
- 多彩な学びの形態を提供できる体制づくり
- 定時制の在り方の検討

一人一人を最適の形で育てる体制づくりが必要

4 計画の内容

(1) 再編整備基準等

適正規模 3～8学級

※3学級を下回る学校は、原則、募集停止

地域への配慮

※県立高校等の地域活性化の核としての役割が高まってきたことを踏まえ、次に該当する学校は、3学級を下回っても、**各市町1校に限り、「魅力化推進校(仮称)」として存続することが可能**

○市町に唯一の学校 ○偏しよ部の学校 など

新チャレンジシステム

3学級以上の学校	魅力化推進校
3年連続 80人以上	3年連続 30人以上
魅力化推進校に該当しない場合	魅力化推進校に該当する場合
募集停止	規模を縮小し魅力化推進校として存続
募集停止	募集停止

※号前高校及び松山北中島分校については、編入の特例措置を適用(募集停止基準3年連続20人未満)

(2) 学校魅力化の在り方等

- 職業系学科の魅力化**
「産業科学高校(仮称)」の設置
地域経済の振興に資する産業人材の育成
- 進学指導の強化**
「進学指導強化モデル校(仮称)」の設置
高い進学目標を持った生徒が地域で学ぶことができる体制の構築
- 定時制課程・通信制課程**
・昼間二部定時制と通信制の課程を併置し、**小規模校等への授業配信拠点**としての機能を持たせた県立高校の設置
- 総合学科の拡充**
・地域のニーズや生徒の実態を踏まえた系列の設置
・より一層充実した**進学指導**

前期計画の内容（西条地区）

現状 (H4)				前期計画					
学校名	学科	学級	定員	学校名	学科	コース等	学級	定員	
西条	普通	5	200	西条	普通		5	200	
	国際文理	1	40		国際文理			1	40
	商業	1	40		商業			1	40
西条農業	農業	3	120	西条農業	農業		3	120	
小松	普通	3	120	周島	普通	文理探究 教員養成 校友会創	3	120	
	家庭	1	40		理数情報			1	40
東予	工業	3	120	西条産業 科学	農業		1	40	
	農業	1	40		工業			2	80
丹原	普通	3	120	西条産業 科学	商業		2	80	
	農業	1	40		家庭			1	40
計定員				21	計定員				
				21	21				

※学級数については、今後の中学生の進路状況や地域の状況などを踏まえ、適宜、検討を加える。専攻課程・コース等については、準備委員会での協議を経て、正式に決定する。

振興計画のスケジュール（西条地区）

年度	小松 東予 丹原			周島 (仮称) ※校地は小松	西条産業科学 (仮称) ※校地は東予 農業実習時は丹原
	※それぞれの校地で卒業まで在籍				
令和5年度	1・2・3年生在籍			準備委員会	
令和6年度	1・2・3年生在籍			校名・学科・教育課程等 学校運営に関することを検討	
令和7年度	1・2・3年生在籍				
令和8年度	2・3年生在籍			【開校】 1年生在籍	
令和9年度	3年生在籍 【年度末閉校】			1・2年生在籍	
令和10年度				1・2・3年生在籍	

小松高校養正会の
高校再編に対しての動き

七月に再編案が発表され、養正会では役員会を開き対応を検討し、八月の第一回の地域説明会の説明を受け直ちに臨時常任理事会を開催し理事の皆様より多くのご意見をいただき、今後の方針として小松高校の存続を決めることを決議して会を閉じました。

八月三十日に役員会を開催、取り組みの確認と実施案について討議を行い「愛媛県立小松高等学校の存続を考える会」を立ち上げ嘆願書を作成し養正会会員・PTA・地域の皆様に署名活動の協力をお願いし、目標を一万名とし九月末を期限に実地することを決定しました。

署名活動は各支部を始め賛同をいただいた皆様のご協力により、締め切りには、目標を達成できませんでした。各地よりいただいた署名は八、七二一名でした。

その嘆願書を第二回説明会の前の十月五日に県教育委員会に提出し、校名存続をお願いしてまいりました。その後は県のホームページに高校再編案へのパブリックコメント（意見公募）が行われ、多くの皆さんが校名存続のお願いをしていただきました。一月の結果を確認し準備委員会での方向性を考えていきたいと思います。

これからも、小松高校校名存続に向けて皆さんのご協力とご支援を宜しくお願い申し上げます。

学校再編成を考えて

養正会顧問 山岡 大純

今回の学校再編は、既に御承知の通り、愛媛県教育委員会の提案通りに改編が進められていく状況であり、その内容は地域住民、在校生、卒業生とは随分隔たりがあるものである。現在の校舎は残り、学校も残るのであるが、その名称が変わるかもしれない（仮称 周島高校）。これまで一万九千人以上の卒業生を輩出し、創立百十五年の伝統を保持してきた学校である。小松高校という名前を誇りに思い、心の故郷と言えるこの名前を残さなければならぬ。

振り返れば、県立小松高校は、香園寺第三十七代住職山岡瑞圓上人が、明治三十六年入山以来、寺の復興に努められ、また世間の学校教育を鑑みて、この小松の地に男子の中学がないことを憂い、日本のこの先は教育により、国を支える人材を育成することの大切さと、教育の中にも宗教的情操を養うことは、ゆるがせにできないことを思い、子安中学の設立を発願され、昭和十五年四月に、香園寺の校外の景勝の地（現在の場所）を拓いて開校するに至った。願うところは、人格の完成を目指して世界の真実の平和と繁栄に寄与せしめんと、遠大なる宏謀に基づくものであった。その後、太平洋戦争敗戦の憂き目を見て、戦後、学制などが改編され、人財資材共に意のままにならぬものが多く、教育の熱を絶やすことを憂い、昭和二十三年、子安中学校はそのまま県立に移管するに至った。その後、昭和二十四年県立小松高等学校となったのである。

今回の学校再編においても、この地（養正が丘）に校舎を存続させ、学校教育による地域社会の維持に貢献する小松高校が維持されることを心から願うものである。



学 校 行 事

四月八日入学式、普通科八八名、ライフデザイン科三四名の計一二二名の新入生が、新たなスタートを切りました。今年度の重点努力目標は

文武両道 人間力を高め合い、夢の実現を

（伝統を継承し、地域とともに歩む）と決まりました。一人一人の生徒が勉学に部活動に積微力行で取り組み、仲間と切磋琢磨する中で人間力を高め合い、夢の実現を目指してほしいとの思いが込められました。

生徒会活動スローガンは、「Get Over 今を生きる 自分たちで」となりました。どんな困難があるうと力を合わせて立ち向かい、今、この瞬間を輝ける時にするという心意気に溢れている目標を掲げることのできる生徒たちを誇らしく思いました。生徒会役員もこれまで以上に主体的に活動し、商店街の活性化やボランティア活動など地域とのコミュニティを大切にしながら地域課題解決に取り組みました。学校行事では、小松高生の明るさ、諦めない心、積極性が随所に見られました。目標に向かって、失敗や挫折を経験しながら、今を感謝して生きる姿に、心を洗われました。コロナ禍の中、様々な制約はあっても「二期一会に心を磨き、今を生きる」凡事徹底でしっかりと前進していきたいと思えました。



入学式



体育大会



小松高祭



竹林整備



ウォークラリー

朝日エンタープライズ株式会社

〒102-0072 東京都千代田区飯田橋四丁目4番8号
電話 03(3264)3767
〒336-0015 埼玉県さいたま市南区太田窪2丁目9番23号

工藤石油株式会社

西条市大町1215-1 〒793-0030

ギフトと雑貨のお店

有限会社 あきかわ

799-1351
愛媛県西条市三津屋211-1
TEL 0898-64-0488



活躍する在校生

創立一一五周年記念
今久保宏美さん &
吹奏楽部ジョイントコンサート

二年 伊藤 颯夏

令和四年度の小松高祭では、創立一一五周年を記念して今久保宏美さん & 吹奏楽部ジョイントコンサートを行いました。今久保さんは本校卒業生であり、校長先生の同級生であるため、とても親近感が湧きました。

初めてお会いして練習した時、とても気さくな方で、吹奏楽部の伴奏と歌を合わせることに何度も気を配っていただきました。当日は、校歌とホール・ニュー・ワールドの二曲を演奏しました。本当に素敵な歌声でとても感動しました。

そして、ピアノリストの越智清加さんと今久保さんで、もののけ姫、オペラ「蝶々夫人」より「ある晴れた日」を演奏していただきました。美しい歌声とピアノ伴奏の両方が引き立ち、力強さと迫力がありました。このような素晴らしいコンサートを小松高祭で行い、一緒に同じ舞台に立つことができ、とても貴重な経験をさせていただきました。

サイバー犯罪防止をテーマにした俳句・川柳コンクール
高校生川柳部門最優秀賞
「写ってる」

二年 近藤 真翔

交流サイト（SNS）に投稿する写真には多くの情報が含まれ、家などの個人情報特定される危険性を訴えました。SNSは楽しいが、怖い面もあることを知ってもらいたいと考えました。

五・七・五で サイバー犯罪 備えよう。愛媛県ネットワーク防犯連絡協議会は県警や県、県内の通信・IT関連企業など二九団体を構成され、初めて募集があった川柳部門のコンクールで最優秀を受賞。なじみ深い俳句や川柳で、幅広い年代にサイバー犯罪の脅威や防止について関心を持ってもらうと企画され、県内の高校や全国から約一万七千句の応募がありました。

第四二回全国高校生読書体験記
コンクール 全国中央入賞

二年 曾我部 愛

県内二校三二六五点の応募から各校内審査で選ばれた五三作品が審査され、見事優良賞を受賞しました。また、全国中央入賞八編に選出され、一ツ橋文芸教育振興会賞を受賞することができました。

私が一番に言いたいことは、私が読書感想文で県の最優秀賞を受賞できたのは、全てが私の才能ではないということです。

みんなが私を褒めてくれます。私も私を褒めます。称えます。私はすごいでしょう。ですが本当にすごいのは、私の作文を選んでくれた先生、それを添削してくれた先生です。だから私は先生方にとても感謝しています。

私がいじらしいしんじ著「ぶらんこ乗り」という本で感想文を書こうと思った特別な理由はありません。本棚から見えるこの本が特別に思えました。これだと思いました。中学生の頃に読んでみましたが、内容は覚えていません。私はどの本も再読は苦手なので、この本を読みなおすことはしませんでした。この本と私の兄弟事情を絡めたことが一番の勝因だと思います。

有限会社 太陽

浄化槽保守点検業 愛媛県知事(登-24)第305号

〒793-0035 愛媛県西条市福武甲2129番地1



DENTIST

たかはし歯科

799-1371 愛媛県西条市周布822-2
TEL 0898-68-0222

株式会社 丹下興産

〒799-1372 愛媛県西条市吉田298番地9
TEL : 0898-68-7738

株式会社 ミツワ電気商会

OA情報機器事業部

〒791-0506 愛媛県西条市丹原町徳能甲75番地7
TEL 0898-68-7131 FAX 0898-68-0705
http://www.mitsuwa-ele.co.jp

愛媛県知事免許(12)第1944号

有限会社 東予住建

営業時間 / 9:00 ~ 18:00
電話 0898-64-1123



東洋管工株式会社

〒799-1354 愛媛県西条市北条1009番地
TEL 0898-64-1010
給排水設備・空調設備

創立115周年記念

ジョイントコンサートを終えて

今久保宏美

コロナ禍という状況の中、歌う機会も殆ど無くこの3年近く辛く、まるで暗闇にいる様でした。今年夏頃からいろいろな事が少しずつ動き始め、「文化祭で歌ってくれる？」とお話をいただいたのが9月末。プログラムはソロだけでなく、吹奏楽部の皆さんのとのコラボを含むものでした。

10月半ばの初めての合わせ。部員3名の女の子と先生2名の5名。私の学生時代はたくさんの部員、毎年のコンクール出演、卒業生



の先輩方の応援に、指導と賑やかなものでした。少しの寂しさを感じたけれど、部員の皆さんから届く一生懸命なとても美しい音に感動し、参加させてもらえる事が楽しく幸せで、心が引き締まる思いで一杯になりました。文化祭当日は、ライブ配信を含む形のコンサートとなりました。会場では、生徒さん達の熱心に聴いてくれる空気を感じ、教室の生徒さん達もしっかり聴いてくれたとのことのお話をうかがい、あらためて母校で歌えた喜びを感じました。

11月に入って吹奏楽部3名一人一人から、丁寧で温かなお手紙が届きました。嬉しかったです。来年は私も選歴という人生の節目に当たり、夏にリサイタルを計画しております。

今回の母校での文化祭。リサイタルも再び初心に戻り、歌わせてもらおうと思います。素晴らしい機会をいただき心より感謝申し上げます。ありがとうございます。



活躍する卒業生たち

本部OBだより

藤井 武彦

小松高校を卒業し早いもので四十年になります。会社勤めを辞め、現在は、家業であった農業をしています。また、十年前から西条市議会議員をさせて頂き、市議と農業の二刀流で充実した日々を送っています。

現在、サッカーワールドカップカタール大会が開催され、日本選手の活躍に、日々感動を頂いています。私も学生時代はサッカー部に所属し、チーム一丸となって勝利を目指して戦ったことが昨日のように思い出されます。卒業後は、一時競技とは離れていましたが、先輩の誘いもあり、現在もシニアチームに所属しています。今後も健康管理と体力維持を兼ねてサッカーを楽しんでいけたらと思います。

今後益々、高齢化社会が進むと推測されていますが、仕事も含め、何事に対しても生涯現役の気持ちで、チャレンジしていきたいと思っています。

松山支部

俳句甲子園ボランティアに参加して

白木 秀幸

「松山市に「俳句甲子園」という、昨年で第25回を迎えた大会があり



手伝い始めた頃は参加校も少なく、文芸部のある高校にチラシを送ったり、県外の高校に直接出向いて顧問の先生に挨拶をしたり、あの手この手で知名度を上げる活動もしました。その甲斐もあってか参加校も徐々に増え、この大会の発起人です。



私は第6回大会からスタツフとして参加させていただきます。

もある夏井いつきさんが全国ネットの番組に出演したことも重なり、今では各地で地方大会が行われ、「全国大会」と呼ぶに相応しい大会が毎年松山市で開催されるようになりました。

私自身、毎月の会議に出たり、準備で走り回ったり、若いボランティアの子たちのお世話をしたり、今では俳句甲子園に関わっているのが当たり前の生活になっています。これからも、微力ながらお手伝いを続けたいと思っています。」以上。

関西支部
思い出作り
首藤 勉

大学を卒業し50年73才になりました。金融機関に勤務50代半ばで早期退職し経営コンサルタントをしてきました。65才を機に仕事を減らし、今は数社の顧問をしています。

以来週2回の水泳、毎日1万歩のウォーキングと2、3時間の読書、月2回の古道・低山歩きは欠かした事はありません。特に古道歩きは趣味が高じて名所の解説も作り山の辺の道コース他、数コースはボランティアガイドをしています。又、現代時代の罪滅ぼしに妻の負担を少し減らすと家事を手伝っています。

年を取った時の最大の財産は思い出だと思っていますので良い思い出を作る為これからの人生、色々な事に挑戦して行きたいと思っています。



関東支部
今を真剣に生きる
玉置 泰之

皆様はじめまして。平成六年に卒業しました玉置泰之と申します。私は小松高校を卒業後、大阪の大学に進学して現在東京の会社で日々忙しく過ごしております。

私は在学中、男子バレーボール部に所属しておりました。バレーボールは中学から始めて大学(関西リーグ)までプレーしていました。今は引退してすっかりプレーする機会もなくなりました。今でも当時の練習を思い出すと、吐き気を催すような過酷な練習でしたので、辛く苦しかったことしか覚えていません。先生、諸先輩方、後輩にも恵まれて、全国大会(インターハイ)や四国大会にも出場でき、国体選手として選ばれたことで大学に進学できたことは、私の人生のターニングポイントが、バレーボールに出会ったことだと感じています。

私は全国大会に出場する一年くらい前から部活終りの下校の際、チームメイトに『全国大会に行くんやからな』と毎日別れ際に言っていたことを今でも鮮明に覚えています。当時、春高バレーで全国ベスト8の成績を残していた、絶対王者松山工業高校を倒すことは不可能だと思われていました。打倒松工を自分が叶えたいと思っていた目標だったからこそ発言したと思いますが、それが自



分の行動にも影響していたと今ではそう思います。【信じる力】は周りを巻き込み前向きな力を発揮すると思います。しかし、発言する本人がそのために今を真剣に生きて、今日を充実させる”を実行できていないと、効力が発揮されなれないと思っています。どんな状況であっても今を真剣に生きられない人に、自分が望む未来は絶対に訪れることはありませんから、「原因」と「結果」の法則は必ず正しく訪れると思っています。これは普段の生活の中でも、人を大切にしない人は、人から自分も大切にされませんし信用もされません。大きな仕事をできなければ、高い報酬や地位や名誉を手にすることもないでしょう。私は人生を豊かにするフアクターのひとつとして、「出会い」があると思います。新たな出会いは機会(チャンス)や刺激や知恵を与えてくれます。学生の皆さんも養正会会員の皆様も、これから数十億の見知らぬ人々と出会う機会が訪れるはずですが、真剣に生きていれば、良い出会いが沢山訪れますから一期一会を大切にしてください。

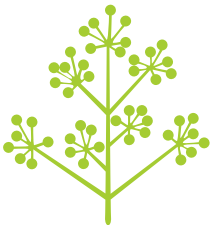
養正会も出会いの場の一つだと思います。養正会(関東支部)の活動は現在お休みしていますが、また皆様と会場でお会いできることを楽しみにしております。

最後になりますが学生の皆さんには、過去を引きずらず、未来に捕らわれ過ぎず、今を一生懸命に生きて、学生生活を充実させてください。

分の行動にも影響していたと今ではそう思います。【信じる力】は周りを巻き込み前向きな力を発揮すると思います。しかし、発言する本人がそのために今を真剣に生きて、今日を充実させる”を実行できていないと、効力が発揮されなれないと思っています。どんな状況であっても今を真剣に生きられない人に、自分が望む未来は絶対に訪れることはありませんから、「原因」と「結果」の法則は必ず正しく訪れると思っています。これは普段の生活の中でも、人を大切にしない人は、人から自分も大切にされませんし信用もされません。大きな仕事をできなければ、高い報酬や地位や名誉を手にすることもないでしょう。私は人生を豊かにするフアクターのひとつとして、「出会い」があると思います。新たな出会いは機会(チャンス)や刺激や知恵を与えてくれます。学生の皆さんも養正会会員の皆様も、これから数十億の見知らぬ人々と出会う機会が訪れるはずですが、真剣に生きていれば、良い出会いが沢山訪れますから一期一会を大切にしてください。

養正会も出会いの場の一つだと思います。養正会(関東支部)の活動は現在お休みしていますが、また皆様と会場でお会いできることを楽しみにしております。

最後になりますが学生の皆さんには、過去を引きずらず、未来に捕らわれ過ぎず、今を一生懸命に生きて、学生生活を充実させてください。



四国総合保険事務所株式会社

事務所 / 〒790-0913
松山市畑寺1丁目14-32
TEL (089) 932-1890(代)
FAX (089) 943-6943
携帯 090-8694-2857
E-mail:koichi_mori@cnc.e-catv.ne.jp

FIRE
CAR
LIFE

SOFT LINK

ソフトリンク株式会社

本社 福岡市博多区博多駅前3-7-35 〒812-0011
博多ハイテックビル
TEL: (092) 437-5030 FAX: (092) 437-5031
E-mail: ito@e-softlink.co.jp
URL: http://www.e-softlink.co.jp

H&M High quality design & Material
株式会社 一級建築士事務所

〒793-0030 愛媛県西条市中野甲616-9 SICS インキューブ室NO.4
TEL: 0897-47-5977 FAX: 0897-47-5966 Mobile: 090-7785-2057
E-mail: handm-2013@kfbiglobe.ne.jp Mobile-mail: handm-111@docomo.ne.jp
web site URL: http://www.handm-2013.com

一級建築士 二級土木施工管理技士
一級建築施工管理技士 応急危険度判定士

『サッカーで愛媛を笑顔に』

FC今治 加地

和 (平成二八年卒業)



を期待できる環境も魅力的でした。希望を抱き入学し、女子サッカー部に入り順調にスタートを切った一年目の夏に腰を痛めてしまいました。医師からはヘルニアと診断され、一年間のリハビリが必要だと診断を受けました。選手としてサッカーを続けることが難しい状況となり、退部を申し出たところ、当時の監督から「マネージャーになるか?」と、想定外の提案が返ってきました。

考えた末、選手としての区切りを付け、マネージャーとしてグラウンドに立つことを決断しました。チーム唯一のマネージャーという環境で、「選手とチームスタッフは全然違う」とコーチに言われ、選手との距離を意識するようになったことで普通の女子大生活は送れませんでした。この経験は私の将来に大きな影響を与えてくれました。

当時、吉備国際大学は、なでしこリーグ二部を戦うトップチームと大学リーグを戦うセカンドチームに分かれており、一年生まではセカンドチーム、三年生からトップチームに加わり、マネージャー経験者になりました。ホーム戦の前にはピッチのライン引きや広告看板の設置、スポンサー企業やVIP席の来客案内を務めるなど業務は多忙でしたが不思議と苦には感じませんでした。プレイヤーとしてではなく、マネージャーとしてサッカーに関わっている充実感が支えとなっていきました。

四年生の秋、なでしこ一部「伊賀FCくノ一三重」のフロントスタッフとしての誘いを受け、面接試験で大学で

の経験を語ると、有難いことに「すぐにもチームに帯同してほしい」と歓迎されました。広報担当としてグッズやチケット販売、ホーム戦の準備までクラブ運営の最前線に立ちました。また、数年前からのコロナ禍で、練習や試合後のメディア対応は全てオンラインになり、SNSやパソコンを扱うなど、新人には与えられない仕事を任せられ、幅が広がったと前向きに捉えることができました。無我夢中で業務にあたっていたシーズン終了後、なでしこリーグ一部の強豪INAC神戸の関係者から電話をいただきました。愛媛にいた頃から憧れ続いているチームからのオファーでした。移籍を決意したINAC神戸は、リーグ優勝という高い目標を掲げ、すべてにおいて刺激のある毎日が私を待っていました。

早朝から選手のドリンクを三種類作り、ボール、コーン、ゴール、ウェアなどの用具を準備、午後からの練習までデスクワークで書類作成や練習場の確保、アウェー戦に向けた旅行会社との連絡などの仕事があり、練習後には再び事務仕事に戻るのが生活でした。INAC神戸は開幕から八連勝を合



む十六試合無敗を記録し、首位を独走し、優勝を決めました。どのチームにも活躍する選手がいます。また、試合に出られない選手もいます。また、同じトレーニングをしても一人一人の心身の状況は異なることから、選手との何気ない会話や表情で「小さな変化に気付ける目配り」を大切にしてきました。「マネージャーも選手と一緒にピッチで喜怒哀楽を共有する!」私は、自分が選手を辞めたときから、チームが勝って選手が笑顔になれる瞬間を何よりの楽しみにしてきました。INAC神戸は、WEリーグ「初代女王」に輝き、共に歓喜しましたが、すべてのチーム、すべての選手、すべてのサッカーファミリーがもつとサッカーを楽しめる環境をつくりたいという探究心がさらに増しました。そして、その思いを地元、「愛媛」で叶えるため、今年度からFC今治のマーケティングチームのスタッフとして頑張っています。FC今治の「次世代のため、物の豊かさより心の豊かさ」を大切に社会創りに貢献する」という企業理念も気に入っています。中学時代に愛媛で見た「なでしこ」の選手たち。今は、大好きな地元で大好きなサッカーの仕事に携われていることに幸せを感じています。これからも足元を見つめ、向上心を持ち、地元愛媛のFC今治でより多くの方々を笑顔にでき、勇気と感動を与えられるスタッフになることを誓います。養正会の皆様、応援よろしくお願いたします。



FC今治公式HP

株式会社 **縁**
居酒屋
西条市喜多445番地5
TEL 0898-65-7747

たたみの
有限会社 **汐崎**
愛媛県西条市玉之江516番地1
TEL 0898-64-3055 Fax 0898-64-3443

有限会社 **石川不動産鑑定所**
〒793-0030 愛媛県西条市大町452番地6
TEL : 0897-55-7151 FAX : 0897-55-7124
E-mail : i-kan@vega.ocn.ne.jp

思い出の地～荒木書店



いよ小松駅から国道11号線を渡って、まっすぐ商店街を上がり、旧道との交差点のところに荒木書店があります。

小松高校に入学して、教科書はこの荒木書店に買いに行っていました。

昔は店の中にも色々な本や雑誌が置いてありましたが、今は建物も変わり、教科書販売のみされているようです。

でも、今も昔も小松高校とは関係の深い荒木書店です。



令和4年度 叙勲

旭日単光章

元 養正会常任理事

戸 田 裕 喜 氏

瑞宝小綬章

元 小松高等学校校長

平 岡 長 治 氏

令和4年度卒業証書授与式は、席の間隔を空け、来賓者を最小限の人数にとどめるなど、新型コロナウイルス感染症対策を徹底して行いました。式典参加を予定しておられました50年目同窓生の皆様には、大変ご迷惑をおかけしましたこととお詫び申し上げます。なお、卒業式の様子は、本校ホームページで紹介しておりますのでご覧ください。

<https://ehm-komatsu-h.esnet.ed.jp/>



【フリーダイヤル】 **0120-88-4840**

■営業時間 / 9:30 ~ 18:30 ■定休日 / 火・木曜日
■〒793-0041 西条市神拝甲 487-3



リブラ薬局 (小松店)
〒799-1101 西条市小松町新屋敷甲 209-6
TEL 0898-76-3500 FAX 0898-76-3502

リブラ薬局 (玉津店)
〒793-0006 西条市下島山甲1237番5
TEL 0897-47-5888 FAX 0897-47-5889

株式会社 田窪工業所

〒799-1392 愛媛県西条市北条962番7
TEL 0898-65-5000 (代)
FAX 0898-65-4677

『これからも
積微力行で活躍』



生徒会長
佐伯大樹

私は、小松高生として充実した
高校生活を送ることができまし
た。日々の生活を振り返ってみ
ると、全てが大切な思い出とな
った。三年間であり、自分を大
きく成長させた三年間でもあ
りました。
生徒会長でもあった私は学校
行事の運営を通して、協力を
してくれる人の大切さを身に
まわりました。生徒会だけで
なく、委員会や先生方の支え
、そして、生徒一人一人の協
力があって学校行事を成功さ
せることができました。協力を
してくれる人の大切さは、部
活動に参加している時にも感
じられました。問題が起こった
際、部員や顧問の先生、あ
る時にはコーチと一緒に解決
していただき、この最後まで
活動することができました。ま
た、入部当初、右も左もわか
らなかつた私は、友達と一緒に
練習を重ねて行き、最後の試
合で全力を尽くすことができました。
これは学校の校是である積
微力行を感じられた瞬間です。
これからは小松高校で身につ
けた力を活かして頑張るため
に、卒業後も絆を大事にして
いきたいと考えています。こ
れから節目の年を中心とな
って活躍してくれる幹事の
皆さんを紹介します。
一組 原 知輝 持主 空
二組 曾我部 瑠奈 美濃 心
三組 岡田 涼之介 久米 美来
四組 橋 杏菜 眞鍋 瑠奈
よろしくお願いたします。

令和4年度3年生進路決定状況 1月17日現在

	決定						未定							
	普通科			家庭科			総計	普通科			家庭科			総計
	男	女	計	男	女	計		男	女	計	男	女	計	
	56	41	97	1	25	26	123	5	5	1	1	6		
四大	32	9	41	1	1	2	43	3	3			3		
短大			10		8	8	18							
専門	11	13	24		12	12	36							
管内	4	2	6		3	3	9	1	1			1		
県内	6	5	11				11							
県外	1		1		1	1	2			1		1		
公務員	2	2	4				4	1	1			1		

主な合格先	〈四年制大学〉		〈短期大学〉		〈専門学校〉	
	校名	学部	校名	学部	校名	学部
	高知大	理工	地球環境防災	松山東雲短	保育	
	福山市立大	教育	児童/教育	松山東雲短	食物栄養	
	高知工科大	シス工		松山東雲短	現代ビジネス	
	東京農大	国際食料	アグリビジネス	神戸教育短	こども	
	大阪芸大	芸術	文芸	大手前短	歯科衛生	
	大阪保健医療大	保健医療	リハ/理学療	就実短	生活実践科学	
	くらしき作陽大	食文化	現代食文化			
	広島経大	経済	経済			
	安田女子大	現代ビジ	現代ビジネス			
	広島国際大	看護	看護			
	徳島文理大	文	日本文			
	松山大	経済	経済			
	松山大	経営	経営			
	聖カタリナ大	人間健康	健康スポーツ			
	第一工科大	工	情報電子シス			
		〈就職〉				
	ルネサス西条工場 (製造技能員)	西条				
	住友重機械イオンテクノロジ愛媛事業所 (技術職)	西条				
	フジボウ愛媛壬生川工場 (製造職)	西条				
	長曽鉄工所 (生産技術)	西条				
	アドバンテック (半導体部品製造)	西条				
	聖風会 (調理員)	西条				
	みどり歯科医院 (歯科助手・受付)	西条				
	日本食研ホールディングス (製造職)	今治				
	BEAMAC株式会社 (船内電気工事)	今治				
	田窪工業所 (製造補助職)	今治				
	住友金属鉱山別子事業所 (技能職)	新居浜				
	住友重機械ハイマテックス (機械工)	新居浜				
	邁進エンジニアリング (事務)	新居浜				
	オオノ開発 (施工管理)	松山				
	星見設備 (製造)	四国中央				
	リブドゥコーポレーション (検査ピッキング作業員)	四国中央				
	濱田重工業株式会社大阪事業所 (技能職)	大阪				
	西条市役所	西条				

養正会からのお知らせ

会員の皆様には、養正会活動にご理解とご協力をいただき誠に有難うございます。
養正会に於きましては、本年度の総会を3月振りに石鐘神社会館にて校長先生をはじめ関東支部・松山支部から参加をいただき行う事ができました。
小松高校創立115周年を記念して、養正会名簿を発行させていただきました。その際には会員の皆様方や地元企業の方より多大なご協賛をいただきました事に心より感謝申し上げます。
養正会では養正会報を全会員(住所確定者)約15,000名の皆様に活動や小松高校の現状などを発信する為に配布をさせていただきますが、今年で全配布は3回目となります。これからも会報の配布を続けて行きたいと思っております。その為には会員皆様には会報発行協力金(活動協力金)の募集にご理解をいただきご協力を宜しくお願い申し上げます。
最後になりましたが、会員の皆様方よりいろいろな情報を集めていますので、どしどし本部事務局までお送りください。また養正会に対する要望もお寄せください。

令和5年度 養正会総会

本部総会 5月27日(土)11時~14時
石鐘神社会館
松山支部総会 7月上旬開催に向け準備中です!
関西支部総会 8月上旬開催に向け準備中です!
関東支部総会 8月26日(土)開催予定
帝国ホテル東京(千代田区)

令和5年度 行事予定

4月10日(月) 入学式
5月27日(土) 養正会総会 本部総会
9月5日(火) 体育大会
10月27日(金) 小松高祭
2月28日(水) 養正会入会式
3月1日(金) 卒業証書授与式